

# システム必要条件

## SAS Profitability Management 2.2

このドキュメントは、SAS Profitability Management 2.2 のインストールと実行のための必要条件を記載しています。SAS Profitability Management 2.2 をインストールする前に、最低条件を満たすようにお使いのシステム環境をアップデートする必要があります。このドキュメントに記載されているシステム必要条件は、次のとおりです。

- サーバーの必要条件：ハードウェアとソフトウェア
- クライアントの必要条件：ハードウェアとソフトウェア

詳細は、SAS テクニカルサポートにご連絡ください。最寄りの SAS 社の窓口は、SAS インストール担当者または SAS サポートコンサルタントにお問い合わせください。または、Web サイト (<http://www.sas.com/japan/corporate/index.html>) を参照してください。

## 配置

SAS Profitability Management 2.2 は、Windows または UNIX オペレーティングシステムの複数のマシンにインストールすることができます。下記は、もっとも複雑な配置の例です。

1. サーバマシン 1 : Web Server
2. サーバマシン 2 : Workspace Server、OLAP Server、Transaction Assignment Server
3. サーバマシン 3 : Metadata Server (既存の Metadata Server でもかまいません)
4. サーバマシン 4 (オプション) : Database Server

SAS Profitability Management Client は、Windows オペレーティングシステム上でのみ使用可能です。次の表は、SAS Profitability Management Mid-Tier のオペレーティングシステム別の利用可能なプロダクトを一覧にしたものです。

ミドル層 アーキテクチャ	データベース	Web サーバー
Windows 2003 32-bit	SAS データセット	JBoss、 WebLogic または、 WebSphere (64-bit Windows のみ)
Windows 2003 64-bit	Microsoft SQL Server	
Windows 2008 32-bit	Oracle	
Windows 2008 64-bit	MySQL	
Solaris	SAS データセット	WebLogic
	Oracle	
	MySQL	
AIX	SAS データセット	WebSphere
	Oracle	
	MySQL	
Linux	SAS データセット	JBoss または、WebLogic
	Oracle	
	MySQL	

## サーバーの必要条件

モデルおよび関連する分析キューブの数とサイズは、ハードウェアに関連するすべてのパフォーマンスに影響を与えます。特定のサーバープラットフォームが適しているかどうかは、主としてデータの容量に左右されます。ここに示す、最小限および推奨する構成のハードウェア、プラットフォームは、目安として参照してください。最小のサーバー構成は、ソフトウェアの実行と比較的小規模な分析の実行に必要なだけの構成になっています。データ容量が増えるにつれて、実行時間も長くなります。より高速な実行の実現には、ある段階でハードウェアのアップグレードの検討が必要になることが考えられます。

## サーバーハードウェアの必要条件

	最低限必要な構成	推奨している構成
ハードウェア	<p>この構成は、サイズの小さなトランザクションテーブル（期間あたり 1000 万トランザクションまで）で、レポート参照者 10 人までの場合に推奨されるものです。</p> <p>1) <b>Unified Server</b> (X86、X86-64、PowerPC、または、SPARC) : 2GHz 以上の CPU 2 つ、4GB の RAM、200GB の空きディスク容量（モデル、トランザクションテーブル、およびキューブで使用）<sup>1</sup></p>	<p>この構成は、サイズが中程度のトランザクションテーブル（期間あたり 1 億トランザクションまで）で、レポート参照者 50 人までの場合に推奨されるものです。<sup>2</sup></p> <p>1) <b>Web Server</b> (X86、X86-64、Power PC、または SPARC) : 2GHz 以上の CPU 2 つ、4GB 以上の RAM、100GB の空きディスク容量</p> <p>2) <b>Metadata Server</b><sup>3</sup> (X86、X86-64、Power PC、または SPARC) : 2GHz 以上の CPU 2 つ、4GB 以上の RAM、100GB の空きディスク容量</p> <p>3) <b>Workspace Server, OLAP Server and Transaction Assignment Server</b> (x86、X86-64、Power PC、または SPARC) : 2GB 以上の CPU 4 つ、8GB の RAM、800GB の空きディスク容量（拡張ハードディスクサブシステムを備えていることが望ましい）</p>

<sup>1</sup> 計算される OLAP ファクトテーブル（Calculating OLAP fact table）は、何百ギガバイトもの追加ディスク容量が必要になることがあります。記憶されているディスク容量は、一般的な使用を想定した推定値です。個別のインストールで使用される実際のディスク容量は、実行する分析の種類と数によって異なります。詳細は、営業担当者またはテクニカルサポートにお問い合わせください。

<sup>2</sup> サイズの大きなトランザクションテーブルを使用する場合、または、レポート参照者が多い場合は、SAS テクニカルサポートにお問い合わせください。

<sup>3</sup> 通常のインストールでは、Metadata Server マシンは、ほかのすべての SAS アプリケーションがインストールされたマシンと同一筐体になります。このマシンは、SAS Profitability Management 専用にする必要はありません。

## Unified Server マシンのソフトウェアの必要条件

		最低限必要な構成	推奨している構成
オペレーティングシステム		Windows Server 2003 SP2 (32-bit または、64-bit)、 IBM AIX 6.1 (Power PC) または、 Solaris Version 10 (SPARC) RedHat Linux 5 (64-bit)	Windows Server 2008 R1 SP2 (32-bit または、64-bit)、 Windows Server 2008 R2 SP1 (32-bit または、64-bit)、 IBM AIX 6.1 (Power PC) または、 Solaris Version 10 Update 1 (SPARC) RedHat Linux 5 (64-bit)
SAS コンポーネント		SAS Web Report Studio 4.3	
SAS Server		Base SAS 9.2 M3 および SAS Metadata Server 9.2 M3 および SAS Workspace Server 9.2 M3 および SAS OLAP Server 9.2 M3 および、 RDMSにアクセスする場合、それに対応した SAS/ACCESS プロダクト	
Web Server		次のいずれか： JBoss 4.2 Oracle WebLogic Server 10.3 IBM WebSphere 6.1 (Fix Pack 6.1.0.17 を適用したもの)	次のいずれか： JBoss 4.3 Oracle WebLogic Server 10.3 IBM WebSphere 7 (Fix Pack 6.1.0.21 を適用したもの)
Java SDK	JBoss 4.2 または、 4.3	Windows : Java 2 SDK 5 Update 15 (32-bit 版には、32JDK、64-bit 版には、64 JDK が適合) Solaris : Java 2 SDK 5 Update 12 (64-bit) Java SR5a 64-bit, 5.0.0.130 ファイルセット Linux : Java 2 SDK 5 Update 14 (64-bit)	
	WebLogic 10.3	Windows : Java 2 SDK 6 Update 16 (32-bit 版には、32JDK、64-bit 版には、64 JDK が適合) Solaris : Java 2 SDK 6 Update 16 (64-bit) IBM JDK 6 SR4 + IZ51489+IZ45701+IZ52413+IZ52880+IZ53551 64-bit Linux : Java 2 SDK 6 Update 16 (64-bit)	
	WebSphere 6.1 または、 7.1	IBM WebSphere Application Server のための JDK をダウンロードする必要はありません。IBM WebSphere Application Server は、自動的にインストールされて、IBM WebSphere に使用される特定のバージョンの IBM JDK を含めて提供されます。	
Java 診断ツール		JUnit 3.8.1	JUnit 4.0
Optional RDMS Server <sup>4</sup>  (SAS をすべての必要なデータセットとして使用できます。)		Microsoft SQL Server 2005 SP3 Standard Edition、 My SQL Server 5.0.805 <sup>5</sup> 、 My SQL Server 5.0.865 <sup>5</sup> 、 Oracle Server 11gR1	Microsoft SQL Server 2008 SP3 Standard Edition、 My SQL Server 5.0.805 <sup>5</sup> 、 My SQL Server 5.0.865 <sup>5</sup> 、 Oracle Server 11gR2
Java Runtime Environment (JRE)		Windows Server : JRE 6 Update 14 (32 bit) Solaris : JRE 5 Update 12 (32 bit) IBM JRE 6 SR3, 6.0.0.75 file set, pap3260sr3-20081106_07 Linux : JRE 5 Update 14 (32 bit)	

<sup>4</sup> SAS/ACCESS プロダクトは、RDMS 別に必要です。<sup>5</sup> MySQL データベースを使用する SAS Performance Management Solution (SAS Financial

Management、SAS Human Capital Management、SAS Strategy Management) をインストールする予定であれば、それらを先にインストールしてください。

## Web Server マシンのソフトウェアの必要条件

		最低限必要な構成	推奨している構成
オペレーティングシステム		次のいずれか： Windows Server 2003 SP2 (32-bit または、64-bit)、 IBM AIX 6.1 (Power PC)、 RedHat Linux 5 (64-bit) Solaris Version 10 (SPARC)	次のいずれか： Windows 2008 Server R1 SP2 (32-bit または、64-bit)、 Windows 2008 Server R2 SP1 (32-bit または、64-bit)、 IBM AIX 6.1 (Power PC)、 RedHat Linux 5 (64-bit)、 Solaris Version 10 Update 1 (SPARC)
SAS コンポーネント		SAS Web Report Studio 4.3	
Web Server		次のいずれか： JBoss 4.2 Oracle WebLogic Server 10.3 IBM WebSphere 6.1 (Fix Pack 6.1.0.21 を適用したもの)	次のいずれか： JBoss 4.3 Oracle WebLogic Server 10.3 IBM WebSphere 7 (Fix Pack 7.0.0.5 を適用したもの)
Java SDK	JBoss 4.2 または、4.3	Windows : Java 2 SDK 5 Update 15 (32-bit 版には、32JDK、64-bit 版には、64 JDK が適合) Solaris : Java 2 SDK 5 Update 12 IBM JDK 6 SR4 + IZ51489+IZ45701+IZ52413+IZ52880+IZ53551 64-bit Linux : Java 5 Update 14 (64-bit)	
	WebLogic 10.3	Windows : Java 2 SDK 6 Update 14 (32-bit 版には、32JDK、64-bit 版には、64 JDK が適合) Solaris : Java 2 SDK 5 Update 12 (64-bit) IBM JDK 6 SR4 + IZ51489+IZ45701+IZ52413+IZ52880+IZ53551 64-bit Linux : Java 2 SDK 6 Update 16 (64-bit)	
	WebSphere 6.1 または、7.1	IBM WebSphere Application Server のための JDK をダウンロードする必要はありません。IBM WebSphere Application Server は、自動的にインストールされて、IBM WebSphere に使用される特定のバージョンの IBM JDK を含めて提供されます。	
Java 診断ツール		JUnit 3.8.1	JUnit 4.0
Java Runtime Environment (JRE)		Windows Server : JRE 6 Update 14 (32-bit) Solaris : JRE 5 Update 12 (32-bit) IBM JRE 6 SR3, 6.0.0.75 file set, pap3260sr3-20081106_07 Linux : JRE 5 Update 14 (32-bit)	

## Metadata Server マシンのソフトウェアの必要条件

	最低限必要な構成	推奨している構成
オペレーティングシステム	次のいずれか： Windows Server 2003 SP2 (32-bit または、64-bit)、 IBM AIX 6.1 (Power PC)、 RedHat Linux 5 (64-bit) Solaris Version 10 (SPARC)	次のいずれか： Windows 2008 Server R1 SP2 (32-bit または、64-bit)、 Windows 2008 Server R2 SP1 (32-bit または、64-bit)、 IBM AIX 6.1 (Power PC)、 RedHat Linux 5 (64-bit)、 Solaris Version 10 Update 1 (SPARC)
SAS Server	Base SAS 9.2 M3 および SAS Metadata Server 9.2 M3	
Java Runtime Environment (JRE)	Windows Server 2003 : JRE 5 Update 15 (32-bit) Windows Server 2008 : JRE 6 Update 14 (32-bit) Solaris : JRE 5 Update 12 (32-bit) IBM JRE 6 SR3, 6.0.0.75 file set, pap3260sr3-20081106_07 Linux : JRE 5 Update 14 (32-bit)	

## Workspace Server、OLAP Server および Transaction Assignment Server マシンのソフトウェアの必要条件

OLAP およびトランザクション割り当て処理は、本質的にディスクを多用するものであるため、このコンピュータには、より大量のデータスループットのための拡張ハードディスクサブシステムを実装することを推奨します。

	最低限必要な構成	推奨している構成
オペレーティングシステム	Windows Server 2003 SP2 (32-bit または、64-bit)、 IBM AIX 6.1 (Power PC)、 RedHat Linux 5 (64-bit)、 Solaris Version 10 (SPARC)	Windows 2008 Server R1 SP2 (32-bit または、64-bit)、 Windows 2008 Server R2 SP2 (32-bit または、64-bit)、 IBM AIX 6.1 (Power PC)、 RedHat Linux 5 (64-bit)、 Solaris Version 10 Update 1 (SPARC)
SAS Server	Base SAS 9.2 M3 SAS OLAP Server 9.2 M3 SAS Workspace Server 9.2 M3 RDMSにアクセスする場合は対応する SAS/ACCESS プロダクトも必要	
Java Runtime Environment (JRE)	Windows Server 2003 : JRE 5 Update 15 (32-bit) Windows Server 2008 : JRE 6 Update 14 (32-bit) Solaris : JRE 5 Update 12 (32-bit) Linux : JRE 5 Update 14 (32-bit) AIX : Java 6 SR3, 6.0.0.75 file set, pap3260sr3-20081106_07	
Java 診断ツール	JUnit 3.8.1	JUnit 4.0
Operational RDMS Server ツール (SAS データセットをデータとして使用しない場合)	MySQL GUI Tools Bundle for 5.0 (このマシン上にデータベースが存在しない場合)	

<sup>4</sup> SAS/ACCESS プロダクトは、RDMS 別に必要です。

## クライアントの必要条件

### 必要なハードウェア

	最低限必要な構成	推奨している構成
プロセッサ	2.0 GHz	2.0 GHz 以上
メモリ	2GB	2GB 以上
ハードディスク	4GBの空きディスク容量／システムドライブ上に2GBの利用可能なスペースがあること	
スクリーンの解像度	1024x 768 ピクセルの画面領域および High Color (16-bit) ディスプレイ	1280 x 1024 ピクセルの画面領域および True Color (32-bit) ディスプレイ

### 必要なソフトウェア

	最低限必要な構成	推奨している構成
オペレーティングシステム	次のいずれか： Windows XP Professional SP3 (32-bit)、 Windows Vista (Enterprise、Business、または Ultimate 32-bit Edition) (32-bit) Windows XP Professional x64 Edition (32-bit 互換モード)、 Windows Vista (Enterprise、Business、または Ultimate 64-bit Edition、32-bit 互換モードで使用) Windows 7 (Enterprise、Business、または Ultimate 32-bit Edition または、64-bit Edition 上で 32-bit 互換モードで使用。)	
Web ブラウザ	Windows XP : Microsoft Internet Explorer 6.0 SP3 Windows XP／Windows Vista : Microsoft Internet Explorer 7.0 Windows 7 : Microsoft Internet Explorer 8.0	
Java Runtime Environment (JRE)	Windows XP : JRE 5 Update 15 (32 bit) Windows Vista／Windows 7 : JRE 6 Update 14 (32-bit)	
Java 診断ツール	JUnit 3.8.1	JUnit 4.0
Optional Data Base 使用するデータベースを一つ選択してください。	Microsoft SQL Server JDBC version 2.0 および、Microsoft SQL Server 2005 Client Tools MySQL Connector/J_5.0.8 または、 Oracle Database 11g Release 1 (10.2.0.4) JDBC Drivers および Oracle Database 11g Client Tools	Microsoft SQL Server JDBC version 2.0 および、Microsoft SQL Server 2008 Client Tools MySQL Connector/J_5.0.8 または、 Oracle Database 11g Release 2 (10.2.0.4) JDBC Drivers および Oracle Database 11g Client Tools

## SAS Metadata Server

Metadata Server のシステム必要条件は、次の場所から参照可能です。

<http://www.sas.com/japan/service/resources/sysreq/index.html>

## Application Server（ミドル層）のインストール

### 必要なソフトウェア

このサーバーは、SAS Profitability Management のアプリケーションをホストします。次のリストにあるサーバーを別のコンピュータに分ける必要はありません。

	最低限必要な構成	推奨している構成
オペレーティングシステム	次のいずれか： <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 2003 Server SP2 (64-bit)</li> <li>IBM AIX 6.1 (Power PC)</li> <li>Solaris version 10 (SPARC)</li> </ul>	次のいずれか： <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 2003 Server R1 SP2 (32-bit または 64-bit)</li> <li>Windows 2003 Server R2 SP1 (32-bit または 64-bit)</li> <li>IBM AIX 6.1 (Power PC)</li> <li>Solaris version 10 (SPARC)</li> </ul>
Citrix <sup>1</sup> (オプション)	Citrix Presentation Server 4	Citrix Presentation Server 4
Web サービス	次のいずれか： <ul style="list-style-type: none"> <li>JBoss 4.2.0 EAP</li> <li>Oracle WebLogic Server 10.3</li> <li>IBM Web Sphere 7</li> </ul>	次のいずれか： <ul style="list-style-type: none"> <li>JBoss 4.2.0 EAP</li> <li>Oracle WebLogic Server 10.3</li> <li>IBM Web Sphere 7</li> </ul>
メッセージキュー	Java Message Services (JBoss、WebLogic または、WebSphere の Web サービスに含まれます)	Java Message Services (JBoss、WebLogic または、WebSphere の Web サービスに含まれます)
その他のオペレーティングシステムコンポーネント	SAS Web Infrastructure Platform 9.2 M3  使用している場合は、SSAS  Microsoft .NET Framework 2.0 SP2	SAS Web Infrastructure Platform 9.2 M3  使用している場合は、SSAS  Microsoft .NET Framework 2.0 SP2
データアクセス <sup>2</sup>  データベースのタイプに依存	次のいずれか： <ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft SQL Server JDBC Driver version 2.0 および Microsoft SQL Server Client Connectivity Tools</li> <li>MySQL Connector/J-5.0.8</li> <li>Oracle Database 11g (11.1.0.6) JDBC Drivers および、Oracle Database 11g Client Connectivity Tools</li> </ul>	次のいずれか： <ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft SQL Server JDBC Driver version 2.0 および、Microsoft SQL Server Client Connectivity Tools</li> <li>MySQL Connector/J-5.0.8</li> <li>Oracle Database 11g (11.1.0.6) JDBC Drivers および、Oracle Database 11g Client Connectivity Tools</li> </ul>
Java	JBoss 4.2/4.3 EAP	Java SDK Update 15 for Windows
		Java 5 SDK 5 Update 15 for Windows

オペレーティングシステムと Web サーバー用に1つ選択してください。	<b>WebLogic 10.3</b>	Java SDK 6 Update 16	Java SDK 6 Update 16
	<b>WebSphere 7 ND</b>	Java SDK 6 Update 16	Java SDK 6 Update 16
<b>Java 診断ツール</b>		JUnit 4.0	JUnit 4.0

<sup>1</sup> 必要に応じて、Citrix Presentation Server を使用することで、ゼロ・フットプリント (zero-footprint) クライアントから SAS Profitability Management の機能へのアクセスが可能です。Citrix ソフトウェアの使用は、必須ではありません。

<sup>2</sup> データベースが SAS Profitability Management のアプリケーションサーバーと別のコンピュータ上にインストールされている場合、データベースの Client Connectivity Tools を SAS Profitability Management のアプリケーションサーバーがインストールされているマシン上にインストールする必要があります。Client Connectivity Tools のパッケージは、ドライバと SAS Profitability Management のアプリケーションサーバーがリモートコンピュータ上のデータベースにアクセスする際に使用するその他のコンポーネントをインストールします。より詳細な情報は、使用するデータベースの Client Connectivity Tools のインストールドキュメントを参照してください。

## 必要なハードウェア

モデルおよび関連する分析キューブの数とサイズは、ハードウェアに関連するパフォーマンスに影響を与えます。特定のサーバープラットフォームが適しているかどうかは、主にデータ容量に左右されます。ここに示す、最小限および推奨しているハードウェアプラットフォームの構成は、目安として参照してください。最小のサーバー構成は、ソフトウェアの実行に必要なだけの構成になっています。データ容量が増えるにつれて、実行時間も長くなります。より迅速な処理を実行するために、いずれサーバーのハードウェアのアップグレードが必要になることが考えられます。

	最低限必要な構成	推奨している構成
<b>プロセッサ</b>	Dual Processor 32-bit、2.0 GHz	Quad Processor 64-bit、3.0 GHz
<b>メモリ</b>	8 GB – JBoss 使用の場合、スワップファイルサイズは物理メモリの2倍と同等であること。  12 GB – WebLogic または WebSphere を使用の場合、スワップファイルサイズは物理メモリの2倍と同等であること。	12 GB – JBoss 使用の場合、スワップファイルサイズは物理メモリの2倍と同等であること。  20 GB – WebLogic または WebSphere を使用の場合、スワップファイルサイズは物理メモリの2倍と同等であること。
<b>ハードディスク</b>	5 GB (インストールと一時ファイルのための容量)  モデルストレージのための追加ディスク容量は、モデルの数、サイズおよび複雑さによって異なります。	5 GB (インストールと一時ファイルのための容量)  モデルストレージのための追加ディスク容量は、モデルの数、サイズおよび複雑さによって異なります。
<b>ネットワーク帯域幅</b>	予定されている同時接続ユーザーあたり、128k の利用可能な帯域幅	予定されている同時接続ユーザーあたり、128k の利用可能な帯域幅

## Database Server

このサーバーは、SAS Profitability Management のデータベースをホストします。前述のサーバーとマシンを分ける必要はありません。パフォーマンスの理由から、OLAP Server と統合することも可能です。

### 必要なソフトウェア

		最低限必要な構成	推奨している構成
オペレーティングシステム		次のいずれか： <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 2003 Server SP2 (64-bit)</li> <li>IBM AIX 6.1 (Power PC)</li> <li>Solaris version 10 (SPARC)</li> </ul>	次のいずれか： <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 2003 Server R1 SP2 (32-bit または 64-bit)</li> <li>Windows 2003 Server R2 SP1 (32-bit または 64-bit)</li> <li>IBM AIX 6.1 (Power PC)</li> <li>Solaris version 10 (SPARC)</li> </ul>
データベース	Microsoft Windows でのみ使用可能	Microsoft SQL Server 2005 Standard Edition SP3 (32-bit または、64-bit)  Microsoft SQL Server 2005 Enterprise Edition SP3 (32-bit または、64-bit)	Microsoft SQL Server 2008 Standard Edition SP1 (32-bit または、64-bit)  Microsoft SQL Server 2008 Enterprise Edition SP1 (32-bit または、64-bit)
	Oracle	Oracle 11g (11.1.0.6)	Oracle 11g (11.1.0.6)
	MySQL	MySQL Server 5.0.80 (32-bit) MySQL Server 5.0.86 (64-bit)	MySQL Server 5.0.80 (32-bit) MySQL Server 5.0.86 (64-bit)

### 必要なハードウェア

	最低限必要な構成	推奨している構成
プロセッサ	デュアルプロセッサ 32-bit、2 GHz	クアッドプロセッサ 64-bit、3.0GHz
メモリ	4 GB – スワップファイルサイズは、物理メモリの 2 倍の容量	8 GB – スワップファイルサイズは、物理メモリの 2 倍の容量  大容量のキューブを含む大きなモデルを使用するには、追加のメモリが必要になることがあります。
ハードディスク	5 GB (インストールと一時ファイルのための容量)  モデルストレージのための追加ディスク容量は、モデルの数、容量、および複雑さによって異なります。	5 GB (インストールと一時ファイルのための容量)  モデルストレージのための追加ディスク容量は、モデルの数、容量、および複雑さによって異なります。

## OLAP Server

このサーバーは、SAS Profitability Management の OLAP 分析をホストします。前述のサーバーとマシンを分ける必要はありません。パフォーマンスの理由から、Database Server と統合することも可能です。SAS OLAP Server 9.2 は、SAS Enterprise BI Server 9.2 M3 の一部としてインストールされます。

### 必要なソフトウェア

		最低限必要な構成	推奨している構成
オペレーティングシステム		次のいずれか： <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 2003 Server SP2 (64-bit)</li> <li>IBM AIX 6.1 (Power PC)</li> <li>Solaris version 10 (SPARC)</li> </ul>	次のいずれか： <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 2003 Server R1 SP2 (32-bit または 64-bit)</li> <li>Windows 2003 Server R2 SP1 (32-bit または 64-bit)</li> <li>IBM AIX 6.1 (Power PC)</li> <li>Solaris version 10 (SPARC)</li> </ul>
OLAP 分析	<b>SAS OLAP Server</b>  Windows でのみ使用可能	<ul style="list-style-type: none"> <li>SAS Foundation 9.2 M3</li> <li>SAS Workspace Server 9.2 M3</li> <li>SAS OLAP Server 9.2 M3 (32-bit または、64-bit バージョン)<sup>2</sup></li> </ul> 次のいずれか： <ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft SQL Server Client Connectivity Tools</li> <li>MySQL Connector/ODBC 5.1</li> <li>Oracle Database 11g Client Connectivity Tools</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SAS Foundation 9.2 M3</li> <li>SAS Workspace Server 9.2 M3</li> <li>SAS OLAP Server 9.2 M3 (32-bit または、64-bit バージョン)<sup>2</sup></li> </ul> 次のいずれか： <ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft SQL Server Client Connectivity Tools</li> <li>MySQL Connector/ODBC 5.1</li> <li>Oracle Database 11g Client Connectivity Tools</li> </ul>
	<b>Microsoft SQL Server Analysis Services</b>	Microsoft SQL Server Analysis Services 2005 (SSAS) SP3 (32-bit または、64-bit バージョン) <sup>2</sup>  Microsoft SQL Server Client Connectivity Tools または、 Oracle Database 11g Client Connectivity Tools	Microsoft SQL Server Analysis Services 2008 (SSAS) SP1 以降 (32-bit または、64-bit バージョン) <sup>2</sup>  Microsoft SQL Server Client Connectivity Tools または、 Oracle Database 11g Client Connectivity Tools

<sup>1</sup> SAS Profitability Management 7.1 は、SAS OLAP Server または、SSAS なしで構成することができます。しかし、SAS Profitability Management に含まれる OLAP 分析が機能なくなります。OLAP 分析は、SAS OLAP Server、SSAS または、サードパーティの OLAP Server を必要に応じて外部的に使用するように構成することができます。結果のキューブは、SAS Enterprise Guide など外部 OLAP ビューアで参照することが可能です。

<sup>2</sup> Microsoft SQL Server Analysis2005 または、2008 を使用している場合、HTTP access to OLAP のみ利用可能で

す。HTTP access to OLAP は、SAS OLAP Server を使用の際は、利用できません。

## 必要なハードウェア

	最低限必要な構成	推奨している構成
プロセッサ	デュアルプロセッサ 32-bit、 2 GHz	クアッドプロセッサ 64-bit、 3.0GHz
メモリ	4 GB – スワップファイルサイズ は、物理メモリの 2 倍の容量	8 GB – スワップファイルサイズ は、物理メモリの 2 倍の容量  大容量のキューブを含む大きなモ デルを使用するには、追加のメモ リが必要になることがあります。
ハードディスク	5 GB (インストールと一時ファイ ルのための容量)  モデルストレージのための追加デ ィスク容量は、モデルの数、容 量、および複雑さによって異なり ます。  <b>注意：</b> OLAP キューブの処理に は、かなり大量の追加ディスク容 量が必要になることがあります。 詳細は、営業担当者または、テク ニカルサポートにお問い合わせく ださい。	5 GB (インストールと一時ファイ ルのための容量)  モデルストレージのための追加デ ィスク容量は、モデルの数、容 量、および複雑さによって異なり ます。  <b>注意：</b> OLAP キューブの処理に は、かなり大量の追加ディスク容 量が必要になることがあります。 詳細は、営業担当者または、テク ニカルサポートにお問い合わせく ださい。

## Calculation Server

このサーバーには、SAS Profitability Management の計算エンジン (calculation engine) が含まれま  
す。前述のサーバーとマシンを分ける必要はありません。

## 必要なソフトウェア

	最低限必要な構成	推奨している構成
オペレーティング システム	次のいずれか : <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 2003 Server SP2 (64-bit)</li> <li>IBM AIX 6.1 (Power PC)</li> <li>Solaris version 10 (SPARC)</li> </ul>	次のいずれか : <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 2003 Server R1 SP2 (32-bit または 64-bit)</li> <li>Windows 2003 Server R2 SP1 (32-bit または 64-bit)</li> <li>IBM AIX 6.1 (Power PC)</li> <li>Solaris version 10 (SPARC)</li> </ul>
SAS コンポーネント	<ul style="list-style-type: none"> <li>SAS Foundation 9.2 M3</li> <li>SAS Workspace Server 9.2 M3</li> <li>SAS/ACCESS to ODBC 9.2 M3</li> <li>SAS/GRAPH 9.2 M3</li> <li>SAS/ACCESS to Oracle</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SAS Foundation 9.2 M3</li> <li>SAS Workspace Server 9.2 M3</li> <li>SAS/ACCESS to ODBC 9.2 M3</li> <li>SAS/GRAPH 9.2 M3</li> <li>SAS/ACCESS to Oracle</li> </ul>

	(Oracle を使用する場合) または、SAS/ACCESS to MySQL (MySQL を使用する 場合)	(Oracle を使用する場合) または、SAS/ACCESS to MySQL (MySQL を使用する 場合)
<b>データアクセス</b>	次のいずれか : <ul style="list-style-type: none"> <li>• Microsoft SQL Server Client Connectivity Tools</li> <li>• MySQL Connector/ODBC 5.1</li> <li>• Oracle Database 11g Client Connectivity Tools</li> </ul>	次のいずれか : <ul style="list-style-type: none"> <li>• Microsoft SQL Server Client Connectivity Tools</li> <li>• MySQL Connector/ODBC 5.1</li> <li>• Oracle Database 11g Client Connectivity Tools</li> </ul>

## 必要なハードウェア

モデルの数とサイズは、ハードウェアに関連するパフォーマンスに影響を与えます。特定のサーバープラットフォームが適しているかどうかは、主としてデータ容量に左右されます。下記の最低限および推奨しているハードウェアプラットフォームは、目安として参照してください。最小のサーバー構成は、ソフトウェアの実行に必要なだけの構成になっています。データ容量が増えると、同時に実行時間も長くなります。より迅速な処理を実行するために、いずれサーバーのハードウェアのアップグレードが必要になることが考えられます。

	最低限必要な構成	推奨している構成
<b>プロセッサ</b>	シングルプロセッサ 32-bit、2GHz	デュアルプロセッサ 64-bit、3.0GHz
<b>メモリ</b>	4 GB – スワップファイルサイズは、物理メモリの 2 倍になります。	8 GB – スワップファイルサイズは、物理メモリの 2 倍になります。  大きなモデルを使用するには、追加のメモリが必要になることがあります。
<b>ハードディスク</b>	インストールと一時ファイル領域のために 5 GB が必要です。	インストールと一時ファイル領域のために 5 GB が必要です。

## クライアント

### 必要なソフトウェア

	最低限必要な構成	推奨している構成
<b>オペレーティングシステム</b>	Windows XP Professional SP3 (32-bit)	Windows XP Professional SP3 (32-bit)  Windows Vista SP2 (Enterprise、Business、Ultimate エディション。32-bit または、64-bit バージョン)  Windows 7 (Enterprise、Ultimate、Professional エディション。32-bit または、64-bit バージョン)  DHTML Editing Control for

		Applications (Windows Vista または、Windows 7 を使用の場合)
<b>SAS Enterprise Guide (オプション)</b> 1	SAS Enterprise Guide の ABM Plug-in	SAS Enterprise Guide の ABM Plug-in
<b>その他のオペレーティングシステムコンポーネント</b>	Microsoft .NET Framework 2.0 および、 Microsoft XML Parser 6.0 <sup>2</sup>  上記に追加して次のいずれか 1 つを選択： <ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft OLEDB for OLAP 9.0 (for SSAS 2005)</li> <li>Microsoft OLEDB for OLAP 10.0 (for SSAS 2008)</li> <li>SAS OLEDB for OLAP 9.2 M3 (for SAS OLAP Server)<sup>3</sup></li> </ul>	Microsoft .NET Framework 2.0 または 3.5 および、 Microsoft XML Parser 6.0 <sup>2</sup>  上記に追加して次のいずれか 1 つを選択： <ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft OLEDB for OLAP 9.0 (for SSAS 2005)</li> <li>Microsoft OLEDB for OLAP 10.0 (for SSAS 2008)</li> <li>SAS OLEDB for OLAP 9.2 M3 (for SAS OLAP Server)<sup>3</sup></li> </ul>
<b>Web ブラウザ</b>	Windows XP に含まれている、 Microsoft Internet Explorer 6.0 SP3	Microsoft Internet Explorer 8.0
<b>Adobe Acrobat</b>	Adobe Reader 9	Adobe Reader 9

<sup>1</sup> 必要に応じて、クライアントコンピュータに SAS Enterprise Guide をインストールできます。SAS Profitability Management パッケージには、「SAS Enterprise Guide Plug-In」が含まれています。これは、SAS Enterprise Guide から SAS Profitability Management のパブリックテーブルや Information Map へのアクセスを簡略化します。

<sup>2</sup> Microsoft XML Parser 6.0 は、通常 Internet Explorer の一部としてインストールされるため、別途インストールする必要はありません。

<sup>3</sup> SAS OLEDB for OLAP 9.2 は、通常 SAS Profitability Management Client の一部としてインストールされるので、別途インストールする必要はありません。

### 必要なハードウェア

	最低限必要な構成	推奨している構成
<b>プロセッサ</b>	1.0 GHz	3.0 GHz
<b>メモリ</b>	2GB	3 GB
<b>ハードディスク</b>	1 GB の利用可能なディスク容量/ システムドライブ上に 1GB の利用可能な容量  インポートまたはエクスポートされたモデルの xml ファイルのストレージのための追加ディスク容量は、モデルの数、サイズ、複雑さに依存します。	1 GB の利用可能なディスク容量/ システムドライブ上に 1GB の利用可能な容量  インポートまたはエクスポートされたモデルの xml ファイルのストレージのための追加ディスク容量は、モデルの数、サイズ、複雑さに依存します。
<b>画面の解像度</b>	1024 x 768 ピクセルの解像度、 High Color (16-bit) のディスプレイ	1280 x 1024 ピクセルの解像度、 True Color (32-bit) のディスプレイ
<b>ネットワーク帯域幅</b>	予定されている同時接続ユーザー 当たり、128k の利用可能な帯域幅	予定されている同時接続ユーザー 当たり、128k の利用可能な帯域幅

## スタンドアロンインストール

スタンドアロンインストールは、Microsoft SQL Server を利用したシングル Windows マシンでのみ利用可能です。

### 必要なソフトウェア

	最低限必要な構成	推奨している構成
オペレーティングシステム	Windows XP Professional SP3 (32-bit) または、 Windows 2003 Server R1 SP2 (64-bit)	Windows XP Professional SP3 (32-bit) または、 Windows 2008 Server R1 SP2 (32-bit または、64-bit) または、 Windows 2008 Server R2 SP1 (32-bit または、64-bit) または、 Windows 7 (32-bit または、64-bit)
SAS コンポーネント	<ul style="list-style-type: none"> <li>SAS Foundation 9.2 M3</li> <li>SAS Metadata Server 9.2 M3</li> <li>SAS Workspace Server 9.2 M3</li> <li>SAS/ACCESS to ODBC 9.2 M3</li> <li>SAS/GRAPH 9.2 M3</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SAS Foundation 9.2 M3</li> <li>SAS Metadata Server 9.2 M3</li> <li>SAS Workspace Server 9.2 M3</li> <li>SAS/ACCESS to ODBC 9.2 M3</li> <li>SAS/GRAPH 9.2 M3</li> </ul>
Web サーバー	JBoss 4.2.0 EAP	JBoss 4.3.0 EAP
データベース	Microsoft SQL Server 2005 Express Edition with Advanced Services SP2 <sup>2</sup> (32-bit または、64-bit)  Microsoft SQL Server 2005 Standard Edition SP2 (32-bit または、64-bit)  Microsoft SQL Server 2005 Developer Edition SP2 (32-bit または、64-bit)	Microsoft SQL Server 2008 Express Edition with Advanced Services SP1 以降 <sup>2</sup> (32-bit または、64-bit)  Microsoft SQL Server Standard Edition 2008 SP1 以降 (32-bit または、64-bit)  Microsoft SQL Server 2008 Developer Edition SP1 以降 (32-bit または、64-bit)
メッセージキュー	Java Message Services (JBoss、WebLogic または、WebSphere の Web サービスに含まれます)	Java Message Services (JBoss、WebLogic または、WebSphere の Web サービスに含まれます)
その他のオペレーティングシステムコンポーネント	Microsoft .NET Framework 2.0 または 3.5 および、Microsoft XML Parser 6.0 <sup>4</sup>  上記に追加して次のいずれか 1 つを選択： <ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft OLEDB for OLAP 9.0 (for SSAS 2005)</li> <li>Microsoft OLEDB for OLAP 10.0 (for SSAS 2008)</li> <li>SAS OLEDB for OLAP 9.2 M3 (for SAS OLAP Server)<sup>3</sup></li> </ul>	Microsoft .NET Framework 2.0 または 3.5 および、Microsoft XML Parser 6.0 <sup>4</sup>  上記に追加して次のいずれか 1 つを選択： <ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft OLEDB for OLAP 9.0 (for SSAS 2005)</li> <li>Microsoft OLEDB for OLAP 10.0 (for SSAS 2008)</li> <li>SAS OLEDB for OLAP 9.2 M3 (for SAS OLAP Server)<sup>3</sup></li> </ul>

OLAP Analysis <sup>3</sup>	SAS	SAS OLAP Server 9.2 M3	SAS OLAP Server 9.2 M3
	Microsoft	Microsoft SQL Server Analysis Services 2005 (SSAS) SP2	Microsoft SQL Server Analysis Services 2008 (SSAS) SP2 以降
Java for JBoss 4.2/4.3		JDK 1.5.15	JDK 1.5.15
Java 診断ツール		JUnit 4.0	JUnit 4.0
Web ブラウザ		Microsoft Internet Explorer 6.0	Microsoft Internet Explorer 8.0
Adobe Acrobat		Adobe Reader 9	Adobe Reader 9
データベースソフトウェア		Microsoft SQL Server 2005 Driver for JDBC および、Microsoft SQL Server 2005 Client Connectivity Tools	Microsoft SQL Server 2005 Driver for JDBC および、Microsoft SQL Server 2005 Client Connectivity Tools

<sup>1</sup> SQL Server Standard Edition は、サーバーオペレーティングシステムが必須です。

<sup>2</sup> SQL Server 2005 Express Edition はフリーです。これは、Microsoft SQL Server の機能が限定されたバージョンです。このバージョンでは、OLAP 分析はサポートされていません。したがって、MSAS を使用した統合 OLAP 分析は利用できません。しかしながら、統合 OLAP 分析は、SAS OLAP Server を使用するように設定できます。

<sup>3</sup> SAS Profitability Management 7 は、SAS OLAP Server または、SSAS を除いて設定できます。しかしながら、その場合、SAS Profitability Management から OLAP 分析が機能しなくなります。OLAP 分析は、必要に応じて、外部的に SAS OLAP Server、SSAS またはサードパーティの OLAP Server を使用するように設定できます。分析結果のキューブは、SAS Enterprise Guide などの外部の OLAP ビューアで参照することが可能です。

<sup>4</sup> Microsoft XML Parser 6.0 は、Internet Explorer の一部として通常インストールされるので、別途インストールする必要はありません。

## 必要なハードウェア

モデルおよび関連する分析キューブの数と容量は、ハードウェアのすべてのパフォーマンスに影響を与えます。特定のサーバープラットフォームの使用可否は、主にデータのボリュームに依存します。最低限および推奨しているハードウェアプラットフォームは、目安として参照してください。最低限のサーバー構成は、ソフトウェアの実行に必要なだけの構成になっています。データボリュームが増えると、同時に実行時間も長くなります。より迅速に処理を実行するために、いずれハードウェアのアップグレードが必要になることが考えられます。デスクトップ PC とサーバー PC では、相対的にパワーに差があり、また、スタンドアロンインストールでは、クライアントソフトウェアとサーバーソフトウェアの両方を実行しなければならないため、多くの場合、クライアント/サーバーインストールと同等の動作は期待できません。

	最低限必要な構成	推奨している構成
プロセッサ	デュアルプロセッサ 32-bit、2.0 GHz	デュアルプロセッサ 64-bit、3.0 GHz
メモリ	2GB – スワップファイルサイズは、物理メモリの 2 倍になります。	4GB – スワップファイルサイズは、物理メモリの 2 倍になります。

<p><b>ハードディスク</b></p>	<p>インストールと一時ファイル領域のために 30 GB が必要です。</p> <p>モデルストレージのための追加ディスク容量は、モデルの数、容量、および複雑さによって異なります。</p> <p><b>注意：</b> OLAP ファクトテーブルおよびキューブの処理には、場合によってはかなり大量の追加ディスク容量が必要になります。詳細は、営業担当者もしくは、テクニカルサポートにご相談ください。</p>	<p>インストールと一時ファイル領域のために 30 GB が必要です。</p> <p>モデルストレージのための追加ディスク容量は、モデルの数、容量、および複雑さによって異なります。</p> <p><b>注意：</b> OLAP ファクトテーブルおよびキューブの処理には、場合によってはかなり大量の追加ディスク容量が必要になります。詳細は、営業担当者もしくは、テクニカルサポートにご相談ください。</p>
-----------------------	---	---

## 著作権情報

このマニュアルの正確な書籍情報は、以下のとおりです。

### System Requirements - SAS<sup>®</sup> Profitability Management 2.2

Copyright<sup>®</sup> 2010, SAS Institute Inc., Cary, NC, USA.

本書は、発行元であるSAS Institute, Inc.の事前の書面による承諾なく、この出版物の全部あるいは一部を、電子データ、印刷、コピー、その他のいかなる形態または方法によって、複製、転送、または検索システムに保存することは禁止されています。これらの説明書は著作権により保護されています。

著作権保護を受ける本書の使用の範囲は制限されています。許される使用の範囲とは、使用者のシステムに保存して端末に表示すること、本書が提供された目的である、SAS プログラミングおよびライセンスプログラムのインストール・サポートの責任者が使用するために、必要な部数だけコピーすること、および特定のインストール要件を満たすように内容を修正することを指します。本書の全部あるいは一部を印刷する場合、またはディスプレイ媒体に表示する場合は、SAS Instituteの著作権表示を明記する必要があります。上記の条件以外で本書を複製または配布することは一切禁止されています。

#### アメリカ合衆国政府の制約された権限についての通知

アメリカ合衆国政府による、本ソフトウェアおよび関連するドキュメントの使用、複製、公開は、「FAR52.227-19 Commercial Computer Software-Restricted Rights」（1987年6月）に定められた制限の対象となります。

SAS Institute Inc., SAS Campus Drive, Cary, North Carolina 27513.

SAS<sup>®</sup>およびSAS Instituteのプロダクト名またはサービス名は、米国およびその他の国におけるSAS Institute Inc.の登録商標または商標です。

®は米国で登録されていることを示します。

その他、記載されている会社名および製品名は各社の登録商標または商標です。

英語版更新日 October 19 2010

SAS 9.2 (TS2M3), Rev. 920\_10w46

Pub Code: 64190

### SAS<sup>®</sup> Profitability Management 2.2

#### システム必要条件

2010年11月26日 第3版第1刷発行 (92A485)

発行元 SAS Institute Japan株式会社

〒106-6111 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー11階

本書の内容に関する技術的なお問い合わせは下記までお願い致します。

SASテクニカルサポート

**TEL: 03(6434)3680 FAX: 03(6434)3681**